

昭和五十五年九月招集

第三回館山市議定会定例会會議錄

館山市議會

目次

○第一号（九月十二日）

開 議長の報告 六

議案の配付 六

会議録署名議員の指名 六

会期の決定 六

会議日程の決定 七

議案第五十三号ノ議案第五十八号 七

認定第一号ノ認定第七号 七

提案理由の説明 七

延 會 〇第二号（九月十七日） 一一

行政一般通告質問 一五

神田 守隆君の質問、当局の応答 一五

古賀礼四郎君の質問、当局の応答 二七

横溝 功君の質問、当局の応答 三七

栗原 一雄君の質問、当局の応答 四二

石井 武敏君の質問、当局の応答 五〇

石井 輝久君の質問、当局の応答 六一

散 會 〇第三号（九月十八日） 七二

開 議 七六

議案第五十三号ノ議案第五十六号 七六

石井 武敏君の質問、当局の応答 七六

神田 守隆君の質問、当局の応答 八二

流山源次郎君の質問、当局の応答 八五

委員会付託 八七

議案第五十七号ノ議案第五十八号 八八

石井 武敏君の質問、当局の応答 八八

神田 守隆君の質問、当局の応答 九三

石井 輝久君の質問、当局の応答 九三

委員会付託 九三

認定第一号ノ認定第七号 一一三

神田 守隆君の質問、当局の応答 一一四

石井 武敏君の質問、当局の応答 一二二

決算審査特別委員会の設置、付託、委員の選任 一二七

延 會 〇第四号（九月二十六日） 一二七

開 議 一三二

議案第五十三号、議案第五十七号 一三二

総務委員会委員長報告 一三二

神田 守隆君の討論 一三五

採決 一三六

議案第五十四号ノ議案第五十六号、議案第五十八号 一三六

建設経済委員会委員長報告 一三六

採決 一三七

認定第一号ノ認定第七号 一三八

決算審査特別委員会委員長報告	一三八
神田 守隆君の討論	一四二
栗原 一雄君の討論	一四三
採決	一四四
議案第五十九号	一四四
説明	一四五
委員会付託の省略	一四五
神田 守隆君の討論	一四五
採決	一四六
議案第六十号	一四六
説明	一四六
委員会付託の省略	一四六
神田 守隆君の討論	一四七
採決	一四七
閉 会	一四七

第三回館山市議定会定例会會議錄（第一号）

一、昭和五十五年九月十二日(金曜日)午前十時

一、館山市役所議場

一、出席議員 二十六名

一 番	神田 守隆	二 番	石井 謀
三 番	綱島 憲治	四 番	横溝 功
五 番	福原 勤	七 番	古賀 礼四郎
八 番	石井 昌治	九 番	松下 正己
一 番	林 豊	一 二 番	栗原 一雄
一 三 番	近藤 好雄	一 四 番	渡辺 昭夫
一 五 番	伊藤 幸太郎	一 六 番	押元 稔
一 八 番	流山 源次郎	一 九 番	石井 輝久
二 〇 番	石井 武敏	二 一 番	吉田 勇治郎
二 二 番	藤田 益治	二 三 番	菊井 敏博
二 四 番	和田 一郎	二 五 番	五十嵐 昇
二 六 番	伊賀 多朗	二 七 番	石井 正
二 八 番	安澤 徳順	二 九 番	安西 益男

一、欠席議員 二名

一、出席説明員

市 長	半澤 良一	助 役	小倉 澄男
収入 役	太田 博雄	市長公室長	汐崎 政光
総務 部長	石田 雄一	民生部長	鈴木 力
経済 部長	山田 俊康	水道課長	庄司 利光
教育 委員長	山口 武重	教育委員長	安田 豊作
委員 長	鈴木 正	事務局書記長	蜂谷 達二

監査委員 斎藤 一男	監査事務局長 角田 巖
農業委員長 秋山 萬次	農業委員会 事務局長 庄司 徹
出席事務局職員	
事務局 局長 高尾 豊	事務局 長補佐 石井 敏夫
書 記 兵藤 恭一	書 記 鈴木 哲
書 記 石井 一夫	書 記 嶋田 範夫

一、議事日程(第一号)

昭和五十五年九月十二日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 会議日程の決定

議案第五十三号 館山市附屬機關設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第五十四号 館山市松岡地区土地改良事業分担金徴収条例の制定について

議案第五十五号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第五十六号 市道路線の認定及び廃止について

議案第五十七号 昭和五十五年度館山市一般会計補正予算(第二号)

議案第五十八号 昭和五十五年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算(第一号)

認定第一 一号 昭和五十四年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について

日程第四

認定第

二号

昭和五十四年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第

三号

昭和五十四年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第

四号

昭和五十四年度館山市国民宿舍特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第

五号

昭和五十四年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第

六号

昭和五十四年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第

七号

昭和五十四年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について

開

会 午前十時二分開議

○議長（五十嵐 昇君） 本日の出席議員数二十六名、これより昭和五十五年第三回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（五十嵐 昇君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第百二十一条の規定による出席要求に対し、お手もとに配付のとおり出席報告がありましたので御了承願います。

なお、監査委員より六月及び七月実施の監査結果が報告されております。それぞれお手もとに配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長（五十嵐 昇君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。配付漏れはありませんか。――配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手もとに配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（五十嵐 昇君） 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。

一三番議員近藤好雄君、一六番議員押元 稔君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（五十嵐 昇君） 日程第二、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき、議会運営協議会の意見は本九月十二日から九月二十六日までの十五日間ということでありませう。

お諮りいたします。会期を十五日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（五十嵐 昇君） 御異議なしと認めます。よって会期は九

月十二日から九月二十六日までの十五日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長（五十嵐 昇君） 日程第三、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手もとに配付いたしました会議日程表は本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。

本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合によりまして、その都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（五十嵐 昇君） 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長（五十嵐 昇君） 日程第四、議案第五十三号乃至議案第五十八号及び認定第一号乃至認定第七号を一括して議題といたします。

提案理由の説明

○議長（五十嵐 昇君） これより各議案の提案理由の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

○市長（半澤良一君） 本日、ここに第三回定例会市議会を招集いた

し、当面する案件について審議をお願いすることといたしました。議員の皆さま方には御多忙のところを御出席いただきありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、条例関係議案三件、一般議案一件、補正予算二件及び認定七件であります。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第五十三号館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定についてであります。国におきまして新沿岸漁業構造改善事業促進対策要綱が昭和五十四年六月二十七日制定されました。これに伴いまして、館山市が昭和五十五年六月十四日付で昭和五十五年度地域沿岸漁業構造改善計画地域として指定されましたので、地域沿岸漁業構造改善計画の作成及び事業実施等当該地域の沿岸漁業の構造改善を適正かつ円滑に推進するため、関係漁業団体及び関係金融機関の役員、水産業改良普及職員並びに学識経験を有する者を構成員とする審議会を開催しなければならぬとの事業実施要領に基づきまして、現在の館山市水産振興審議会委員八人に、新たに関係金融機関の役員及び水産業改良普及職員の二人を加えて十人の委員とするため、館山市附属機関設置条例の一部を改正しようとするものであります。

なお、新たに委嘱する委員を置く期間は、地域沿岸漁業構造改善事業の完了年である昭和六十年三月三十一日までとするものであります。

次に、議案第五十四号館山市松岡地区土地改良事業分担金徴収条例の制定についてであります。本条例は市内竜岡字西ノ原、大久保、西ノ下、西條、作及び原田の各一部を受益区域とし土

地改良事業実施に伴う分担金徴収条例であります。

分担金の総額については、各年度ごとに事業費の総額から、国県の補助金の額を除いた額の範囲内で定めるもののほか、受益者分担金の積算基礎及び徴収方法等について必要な事項を定めるものであります。

なお、この条例は、公付の日から施行されますが、昭和五十六年度で完了の予定でありますので、昭和五十七年三月三十一日で失効するように規定してあります。

また、館山市粗飼料等増産基盤整備事業分担金徴収条例、館山市温井農道災害復旧事業分担金徴収条例及び館山市青木町農道災害復旧事業分担金徴収条例については、分担金も滞りなく納入され、事業も完了いたしておりますので、この三条例をこの際廃止しようとするものであります。

次に、議案第五十五号館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。今回、公営住宅法及び同法施行令の一部改正が行われ、本年十月一日から施行されることに伴い、本市においても一部改正をしようとするものであります。改正の内容は、男六十歳、女五十歳以上の者または身体障害者等、單身世帯であっても入居資格を有する者として取り扱おうとするものであります。

次に、議案第五十六号市道路線の認定及び廃止についてであります。道路法第八条第二項及び第十条第一項の規定に基づき、市道神余畑線の認定及び廃止をいたしたいというものであります。認定しようとする道路の延長は二千五百八十五メートル、幅員は四メートルから六メートル。廃止しようとする道路の延長は二千

二百メートル、幅員は六メートルであります。

次に、議案第五十七号昭和五十五年度館山市一般会計補正予算（第二号）であります。歳入歳出予算の補正としまして、歳入歳出それぞれ三億九千九十二万円を追加し、歳入歳出それぞれ八十八億七千二百五十二万七千円としようとするものであります。

歳出のうち、主なものとして、総務費では、前年度に交付された国、県支出金の精算による返還金で七百七十七万七千円、税収入還付金及び還付加算金の不足分として百万円、国勢調査等の委託金の内示に伴う報酬、職員手当等の各種統計調査費で二百六十八万五千円。

民生費では、福祉作業所に隣接する国有農地を同作業地として買収する経費として二百三十六万四千円、母子家庭の母及び児童が入院した場合の医療費の一部を助成することにより、母子家庭の福祉の向上を図る目的で、母子家庭医療費助成制度を十月一日より実施するため、その扶助費として二十三万四千円。

衛生費では、神余ごみ埋立地掘削及び整地に係る自動車等借上料で六百六十一万三千円、衛生センターに掘削した井戸の水については、鉄分が多く水質基準に適合せず、飲料水及び冷却水として使用することが適当でないため、浄水設備が必要であり、また搬入道路建設予定地の一部地下に空どうがあり、そのまま道路建設した場合、後に陥没のおそれがあるため空どう充てん工事が必要でありますので、これらの工事費として千九百二十万円の追加をするともに継続費の補正についてもお願いするものであります。このほか三芳水道企業団負担金については、本年五月分から水道料金の引上げがあったことに伴い増収が見込まれるため、千

七百六万七千円の減額となります。

農林水産業費では、転換水田整備事業委託料としまして松岡地区については本設計の結果に伴い事業費が増加となり、また水岡地区及び坂足地区については、本年度の国庫補助対象にならなかったため減額するものであり、差し引きで千七百三十八万七千円の追加となります。なお、水岡地区については、来年度に土地改良事業として実施すべく本年度に計画を作成するための委託料として五百七十万円、また松岡地区については、埋蔵文化財があり、その発掘調査委託料として百五十万円、農家組合が実施する小規模土地改良事業の補助金の追加分として三百四十八万三千円、水産業関係としましては、補助金の増額内示に伴う水産増殖事業補助金で百八十一万五千円、館山船形漁業協同組合が実施する入港漁船に対し給水するための施設設置事業費補助金として県補助金七百万円に市費を加えて一千万円を、また館山市相浜漁業協同組合が実施する燃油タンク設置事業費補助金として県補助金百五十万円に市費を加えて三百五十万円。

土木費としまして、館山駅周辺市街地について、近年の商業環境の急激な変化、車両交通の増大、市街化の進行等市街地環境の多様な変化に対応した都市環境整備の必要性について、かねてから論じられているところでありますが、今回、当該地域について自然条件、土地利用等の実態を調査するとともに、市街地の環境評価等を行い、それらを踏まえて、市街地整備の必要性を検討し、整備課題及び計画立案に際して考慮すべき条件を整備するため、館山駅周返り市街地整備調査委託料として九百万円、そのほか館山運動公園関係流末水路用地購入費で百四十九万八千円。

教育費としまして、北条小学校校舎は、建設以来十年を経過し屋根については防水効果が減少し、各所で雨漏りがあり、また教室入口の戸車が摩滅し児童が開閉するのに困難をきたしており、すので、これらの改修工事費として千二百二十万八千円、館山市北条一七〇六番地の四、佐伯陳設氏から百万円の寄附がありましたので、これを財源に北条小学校の図書購入費として百万円、第三中学校新設に伴って校歌の作詞、作曲委託料として百万円、西岬中学校校庭の排水路埋設及び土止工事費並びに第三中学校テニスコート脇側溝の改修工事費で三百九十五万円、館山幼稚園敷地内の果有地購入費で七百六十四万八千円の追加のほか、市民文化の向上と都市美化の推進を図るため、五十四年度において造形作品を購入し、中央公園及び市庁舎内に設置しましたが、今年度もさらにその推進を図るため、造形作品購入費及び設置工事費等で三百五十万円の追加をお願いするものであります。

なお、国際ロータリー第二百七十九地区の年次大会記念事業の一環として百五十万円の寄附を頂いておりますので、造形作品の購入費に充てるものであります。

諸支出金としましては、前年度繰越金のうち地方財政法第七条の規定により財政調整基金積立金として二億七千九百五十一万二千円の追加をお願いするものであります。

以上、歳出の主なものについて御説明申し上げましたが、これらの財源としましては、分担金、県支出金等の特定財源で六百五十七万四千円、その他を繰越金、地方交付税等の一般財源をもつて充当しようとするものであります。

次に、議案第五十八号昭和五十五年度館山市国民宿舍事業特別

会計補正予算(第一号)についてであります。昭和五十四年度中に企業債を全額借り入れしたこと等により当初議決をいたさしました未収金を一億九千五百五十万円減額するとともに、営業再開に伴い装飾用の絵画購入費等、資本的支出として総額二百一十一万円の補正をお願いするものであります。

次に、認定第一号乃至第七号の諸案件は、いずれも昭和五十四年度館山市一般会計ほか六会計の歳入歳出決算の認定について、地方自治法等の規定に基づき、監査委員の意見を付して市議会の認定をお願いするものであります。

昭和五十四年度におけるわが国の経済は、前年度に引き続き民間需要を中心として、総体的には順調に推移しましたが、再三にわたる原油価格の引き上げを主因として、卸売物価の上昇が続きました。このため、消費者物価への本格的波及とインフレ抑止策のため、日銀は五次にわたる公定歩合の引き上げを実施し、高金利の年度となりました。一方、財政面では、巨額の公債に依存している状況にあり、地方財政においても交付税会計への資金運用部からの借り入れ、建設地方債の発行等の措置を講じて財源不足を補っており、国と同様、地方債への依存度が高まりました。

このようなかで、本市は、国の財源措置に対応する一方、引き続き内部点検を行い、経費の節減を図るとともに、限られた財源を効率的かつ計画的に執行することに配慮いたしました。予算の執行にあたっては、前年度決算審査特別委員会及び予算審査特別委員会より御指導、要請をいただいた事項に十分留意いたしました。「住みよい環境づくり」、「福祉社会づくり」、「教育環境づくり」、「産業の基盤づくり」の四つの柱を中心とした生活基

盤の整備に努めてまいりました。この結果、昭和五十四年度の一般会計決算においては、実質収支で三億四千九百四十八万七千余円の黒字決算を遂げることができました。

また、特別会計におきましては、その運用と合理化を図りながら、おおむね予算どおり執行することができました。

特に、国民宿舍会計につきましては、宿舍の全面改築を行い、装い新たに営業を再開しております。

水道企業会計におきましては、昭和五十四年度は、第二次拡張事業の初年度として、前年度末に水道事業変更認可を受け、各水道の統合が実現したので、この事業計画に基づき水道施設の整備拡充を図り、特に、夏季を中心に増大する水需要に対処し、安定した給水をするため、作名ダムへの他の流域からの取水施設築造により、非灌漑期に一日四千立方メートルを揚水し、貯水量の増大に努めるとともに、浄水及び送水施設を増設し、今後の水道用水確保に大きく貢献することになりました。収益的収支については、単年度四千二百六十二万一千円の赤字、前年度からの累積赤字六千八百六十四万五千円、合計一億千二百六十六万六千円の赤字となり、このまま推移すると水道企業の運営が困難となるので、本年三月定例会市議会におきまして水道料金改定の議決をいただき、この六月分から適用いたしております。水道は、市民の日常生活に不可欠で重要な施設でありますので、さらに安定した給水を図るため水源の有効な利用と施設の拡充に努め、今後とも経営の合理化等、能率的な運営に留意する所存であります。

昭和五十四年度の決算につきまして、その概要を申し上げますが、個々の施策につきましては、決算等に関する主要な施策の

成果に関する報告及び歳入歳出決算事項別明細書等により御了承を賜りたいと存じます。

以上、本定例市議会において上程いたします各案件につきまして提案理由の説明を申し上げましたが、なお館山市教育委員会委員中二名の者がこの九月三十日をもって任期満了となりますので、この選任方について市議会の同意を得たく、追加議案の上程をお願いする予定であります。

何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明を終わります。

○議長（五十嵐 昇君） 以上で提案理由の説明を終わります。

延 会 午前十時二十五分延会

○議長（五十嵐 昇君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（五十嵐 昇君） 御異議なしと認めます。よって本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明九月十三日から十六日まで議案調査のため休会、次会は九月十七日午前十時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。各議案等の質疑通告の締め切りは九月十七日正午まででありますので申し添えます。

○本日の会議に付した事件

一、会議録署名議員の指名

一、会期の決定

一、会議日程の決定

一、議案第五十三号乃至議案第五十八号、認定第一号乃至認定第七号